

# 施策マネジメントシート(令和3年度目標達成度評価)

シート1

作成日 令和 4 年 10 月 3 日

## 施策体系

政策名(基本方針)	2	福祉の健康	施策名	7	高齢者の自立と支援体制の充実
-----------	---	-------	-----	---	----------------

施策統括部	健康福祉部	関係課
施策主管課	高齢者支援課	

## 1 施策の目的と指標

対象	高齢者	意図	住み慣れた地域で生きがいのある自立した日常生活を営むことができる
----	-----	----	----------------------------------

成果指標		単位
A	住み慣れた地域で生活できていると感じる高齢者の割合(市民アンケート)	%
B	生きがいがあると答えた高齢者の割合(市民アンケート)	%
C	要介護認定率	%
D		

## 2 指標等の推移

成果指標	30年度現状値	数値区分	2年度	3年度	4年度	5年度	評価	背景として考えられること	
A	%	82.9	成り行き値	82.9	83.0	83.1	83.2	△	福祉・医療等のサービスが充実していること、災害被害が少ない地域であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日常生活において不便さや不安感を感じている高齢者もいると思われます。
			目標値	83.0	83.1	83.2	83.3		
			実績値	85.2	82.5				
B	%	82.9	成り行き値	82.7	82.5	82.3	82.1	△	地域のレクリエーションや通いの場の充実が高齢者の生きがいづくりに貢献しているが、日常生活において新型コロナウイルス感染症の影響を受けている高齢者が増えていると思われます。
			目標値	82.9	83.0	83.1	83.2		
			実績値	81.8	79.2				
C	%	17.4	成り行き値	18.1	18.2	18.5	18.9	○	介護予防・生活支援サービス事業や一般介護予防事業などのサービスを提供することで、要介護認定者の増加を抑制することができています。
			目標値	17.8	18.1	18.3	18.7		
			実績値	17.9	17.9				
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			2年度	3年度	4年度	5年度	
事務事業数		本数	18	18			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,011,977	1,081,515		
		都道府県支出金	千円	667,854	650,208		
		地方債	千円	0	0		
		その他	千円	2,202,152	620,204		
		繰入金	千円	607,730	2,273,640		
		一般財源	千円	896,190	882,504		
	事業費計(A)		千円	5,385,903	5,508,071	0	0
(A)のうち指定経費		千円	5,170,414	5,175,962			
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	924	1,068			
人件費	延べ業務時間		時間	20,488	20,677		
	人件費計(B)		千円	80,778	80,847		
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,466,681	5,588,918	0	0

※成果指標の目標値設定とその根拠

A	<p>住み慣れた地域で生活できていると感じる高齢者の割合は、高齢者人口の増加に伴い、在宅での生活に不安を抱える高齢者の増加が考えられることや、令和5年度には後期高齢者数が前期高齢者数を上回ることが見込まれるため、成り行き値は、令和5年度を83.2%に設定しました。目標値は、高齢者数、要介護認定者数の増加が見込まれますが、高齢者を地域で支える体制を構築することで、高齢者が自立した日常生活を営むことができるようになることを考え、令和5年度を83.3%に設定しました。</p>
B	<p>生きがいがあると答えた高齢者の割合の成り行き値は、高齢者人口や要介護認定者の増加が見込まれることや、独居高齢者や高齢者のみの世帯が増加することなどから、緩やかに減少すると考え令和5年度を82.1%に設定しました。目標値は、介護予防の推進、社会参加の促進を進めていくことで、令和5年度を83.2%に設定しました。</p>
C	<p>要介護認定率は、要介護認定者数が増加することに伴い上昇するところですが、高齢者人口のほうがより増加しているため、65歳以上の第1号被保険者に対する要介護認定者の割合は、17.8%前後で推移しています。成り行き値は、介護保険事業計画の将来推計をもとに、令和5年度を18.9%に設定しました。目標値は、近年の要介護認定者の伸び率と介護予防事業等の普及啓発を図ることで、地域の通いの場に参加する高齢者が増えることを見込み、令和5年度に成り行き値より0.2%減じた18.7%に設定しました。</p>

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

①施策の基本方針

- ・高齢者を支える地域支援体制の構築を推進します。
- ・高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進します。
- ・高齢者の自立支援と介護予防・生活支援サービスの提供体制の構築を推進します。

②協働によるまちづくりの具体策(施策における市民と行政の役割分担)

市民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、高齢者を理解して支えます。
- ・市民は、介護予防支援や生活支援のために必要な各種サポーターに登録し活動します。
- ・高齢者は、地域の活動(老人クラブ、地域サロン・介護予防教室等)に参加します。また、自分の生きがいや趣味をみつけます。
- ・高齢者は、制度(介護保険・地域支援事業)を活用します。
- ・地域、団体は、高齢者にサークル活動や地域活動への参加を促します。
- ・地域や事業所及び団体は、高齢者の個別課題等を解決するための地域ケア会議に参加します。
- ・シルバー人材センターは、多様な就業機会の確保と提供を行います。

行政の役割(市がやるべきこと)

- ・市は、市民へ高齢者を支援するための啓発を行います。
- ・市は、各種団体(シルバー人材センター、老人クラブ、地域サロン等)への支援を行います。
- ・市は、高齢者を支える見守りネットワークの構築と生活支援体制の整備を行います。
- ・市は、高齢者を支援するための介護予防教室をはじめとした各種事業を実施し、介護保険事業の運営を行います。
- ・市は、高齢者の自立支援のために、地域や多職種と協働で地域ケア会議を開催します。
- ・市は、社会福祉協議会をはじめとする関係機関等と連携して成年後見制度を推進します。

③施策の現状(第2期計画策定当初)と今後の状況変化

- ・人口の増加に伴い、高齢者人口が伸びています。
- ・要介護(要支援)認定者、認知症高齢者が増加しています。
- ・老人クラブ会員数が年々減少傾向にあり、運営する役員の担い手も不足しています。

④この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・介護予防支援の更なる充実を図ること。
- ・多様な就職機会の確保や充実した暮らしのためにシルバー人材センターとの更なる交流とセンターの充実につながる対応を促進すること。
- ・介護保険事業計画見直しに伴う実態調査を活かして、生きがいつくりに取り組むこと。

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・高齢者へのウィズコロナ・アフターコロナの支援を行うこと
- ・高齢者への各種支援の更なる啓発と充実を図ること。
- ・高齢者の生きがいのための取り組みを推進すること。
- ・企業等と連携し高齢者の雇用の推進を図ること。

4 施策の評価

①施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和3年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①「地域包括支援センターの事業内容を広く周知を行い、相談支援体制については、総合相談窓口(ブランチ)の強化を図るため見直しを行います。」については、令和3年度よりつなぐだけの相談機能に「総合相談支援業務」、「権利擁護」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」、「介護予防ケアマネジメント」4機能を適切に果たすサブセンターを西部地域(ふれあい館内)に設置しました。

②「新型コロナウイルス感染防止の影響を受けている高齢者に対する支援を強化します。」については、介護予防教室開催などに手指アルコール消毒を徹底し、安心安全に参加できるよう支援しました。また、フレイルリスクの早期発見のために、サロン参加者へ基本チェックリストおよび訪問活動を実施しました。

③「民生児童委員協議会やボランティアセンターとの積極的な情報共有を行い、高齢者の支援を強化します。」については、民生児童委員協議会に出席し、事業・制度の説明を行うとともに、高齢者の見守り活動の協力要請や情報共有等を行いました。また、生活支援コーディネーターを通じて、各種ボランティアに対し高齢者の通いの場のつなぎへの参画および情報提供を行いました。

④「老人クラブの活動内容やシルバー人材センターの事業内容を周知し積極的な参加・登録を促します。」については、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、会の運営に対する支援を行いました。老人クラブ連合会では例年シルバーヘルパー養成講習会、同指導者養成講習会、グラウンドゴルフ大会を開催し、積極的に高齢者の地域・社会活動への参加を行っていますが、ここ数年は新型コロナウイルスの影響で開催が縮小されています。また、高齢者の就労を促進するため、介護予防・日常生活支援総合事業である訪問型サービスAをシルバー人材センターに委託し、支援が必要な高齢者の家事支援を行うための人材確保に努めました。

⑤「認知症サポーター養成講座を地域、企業、学校等で開催し高齢者の見守り体制を強化します。」については、「ささえ愛ネットワーク模擬訓練」を新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら実施し、認知症の理解を深めるとともに地域の見守りネットワークづくりに努めました。また、地域の商店に対しても、認知症ステッカーを配布し、地域の高齢者の支援についてお願いをしました。

⑥「地域全体で介護予防に取り組むことができるように各種出前講座を充実します。」については、いきいき百歳体操や歯科指導、骨密度測定など地域を巡回して介護予防に取り組みました。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、令和3年度施策の成果を向上させるために貢献した事業として、一般介護予防事業、高齢者権利擁護事業、在宅医療・介護連携推進事業、老人クラブ活動支援事業、介護予防・生活支援サービス事業があげられました。

**②施策の課題(令和3年度の施策の振り返りから見る課題)**

- ・高齢者の多様なニーズに対応できるよう、介護予防や生活支援サービスの提供体制の構築が必要です。
- ・住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるよう、介護保険事業計画に基づいた地域密着型サービスの基盤整備が必要です。
- ・認知症の方とその家族が住み慣れた地域で継続して安心して暮らせるよう、医療・介護・予防など、市民に関わる機関が連携できる体制づくりや地域全体で支える体制の整備が必要です。
- ・独居高齢者や認知症高齢者が安心して生活できるような成年後見制度に関する仕組みづくりが必要です。
- ・社会参加と生きがいづくりの促進のため、老人クラブの活性化を図り、高齢者の相互扶助の力を維持していくことが必要です。

**5 施策の令和3年度結果に対する審査結果**

**①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて令和4年7月22日)**

- ・高齢者人口の増加に伴い、在宅生活に不安のある高齢者に対する相談体制を包括支援センターを中心に充実させるとともに、見守り支援を強化させること。
- ・認知症の予防と啓発、認知症の方とその家族に対する支援等により、高齢者が住み慣れた地域で生活できる支援体制を推進すること。
- ・高齢者が活躍、交流できる場であるシルバー人材センター、老人クラブ、サロン等の活動を支援し、会員や利用者の増員につなげること。
- ・ICT等を活用した高齢者の生きがいと健康づくりを推進し、ウィズコロナにおける地域とのつながりづくりを支援していくこと。

**②総合政策審議会での指摘事項(令和4年8月4日、8月10日、8月22日のまとめ)**

- ・高齢者の生きがいや活動につなげる取り組みを推進すること
- ・高齢者へのウィズコロナ・アフターコロナの支援を行うこと
- ・高齢者への各種支援の更なる啓発と充実を図ること

**③議会の行政評価における指摘事項(令和4年9月6日)**

- ・地域活動(老人クラブ・地域サロン・シルバー人材センター等)への充実した支援を行うこと。

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**○政策推進本部 令和5年度合志市経営方針(令和4年10月3日)**

- ①地域包括支援センターやサブセンターにおいて相談体制を強化し、関係機関や地域と連携した見守り支援体制の充実を図ります。
- ②シルバー人材センター、老人クラブ、サロン等の活動を支援し、就労機会の確保や生きがいづくり、介護予防の普及啓発を推進するとともに会員や利用者登録を促します。
- ③認知症支援事業を通して、認知症予防を市民に啓発するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう見守りネットワークを強化します。
- ④ICT等を活用した高齢者の生きがいと健康づくりを推進し、ウィズコロナにおけるつながりづくりに努めます。